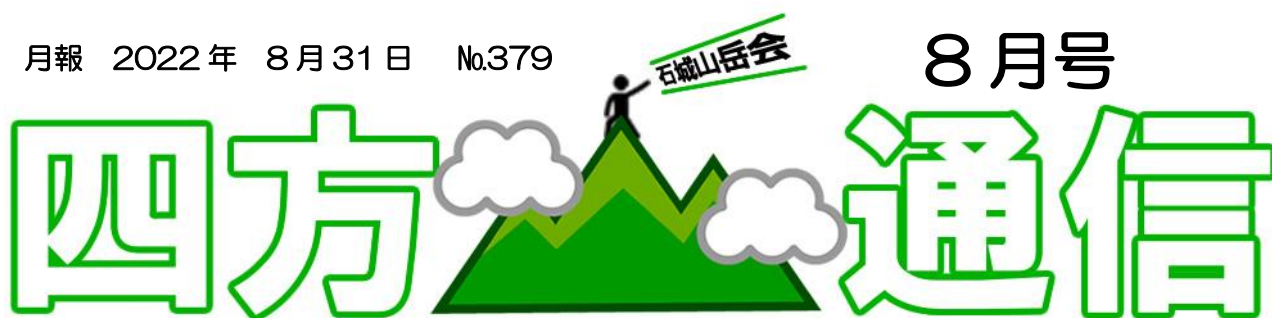


月報 2022年 8月31日 №379

8月号



石城山岳会事務局編集

富士山（3776m）ご来光ツアー

7月例会山行「内倉沢沢登り」

月山（1984m）

障子ヶ岳（1482m）周回

越後裏三山縦走敗退から末丈ヶ岳登頂

奥入瀬溪流散策（7km）

8月教室山行「尾瀬」

8月例会山行「飯豊山」

指導委員会沢登り研修会 安達太良山 烏川右俣

富士山（3776m）ご来光ツアー

2022 年 7 月 18 日(月)・19 日(火)

佐藤(幸)、安部、ほかツアー客 16 名

憧れの富士登山ご来光ツアーに参加しました。これは某旅行会社の富士山ご来光ツアーです。自力での山行計画が難しいと考えていた時に、広告のあったツアーに申し込みました。個人での申し込みだったのですが、偶然にもツアー参加者の中に山岳会会員の方がいて、心強く山行をする事が出来ました。

行程は5合目までバスで行き、そこから登山開始して8合目の山小屋泊、翌早朝に出発し、山頂にご来光を拝観し、お鉢巡りをして下山の予定です。

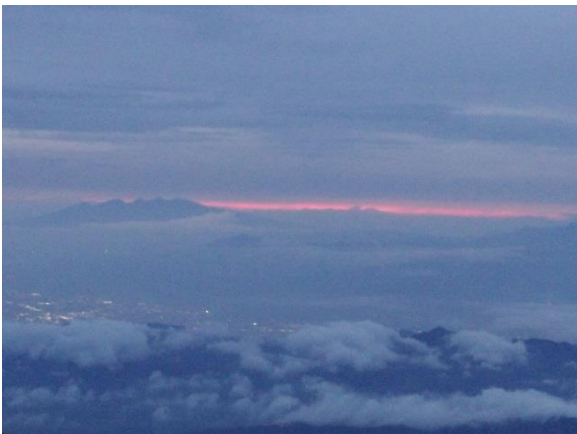


7/18（月）早朝バスにて常磐道→圏央道→中央道→河口湖→富士スバルライン→5合目と進みました。昼食後いよいよ出発です。現地の山岳ガイドさんの案内で 11:10 に5合目を出発、6合目で富士山保全協力金 1,000 円を寄付し休憩、途中複数回休憩とりながら7合目の山小屋到着。ここで体調不良の方1名が7合目山小屋で待機宿泊。また、登山を開始し複数回の休憩を取り、8合目手前のお宮にて休憩中に参加者の方が階段で転倒し怪我をした模様。



この時参加者の中に医療従事者の方がいて、さすがガイドさんの助手となり救護の手助けをしていました。素直にすごい人だと感心致しました。尊敬します。幸いにも転倒された方は歩けるようでガイドさんとゆっくり登られました。その後また細かく休憩を取りながら8合目、そして本8合目の宿泊箇所の山小屋に到着しました。時計は 18:50 で天候曇ということもあり薄暗くなっていました。薄暗い夕焼けの遠くにハケ岳が見えました。素敵な景色でした。

ルートマップのコースタイムは 4° 50' ですが本登山では 7° 40' 掛かりました。これは途中で体調不良者や転倒などのアクシデントの他に高山病を考慮し高地への体を慣れさせるためゆっくりと時間を掛けたためだと思います。



宿泊先の八合目トモ工館に着き夕食を取り早朝（2:30）からの登頂に備え仮眠を取りました。宿泊スペースはコロナ渦に伴いそれ程窮屈ではありませんでした。外は嵐の様です。トイレは外ですごい暴風雨で飛ばされそうになります。それに気温も低く 10℃以下

の様です。何とか治まってくれと祈りながら布団に入りました。



翌朝 2:00 にガイドさんの判断により暴風雨のため山頂ご来光は中止となり下山する事となりました。残念ですが気象状況が悪いので仕方がありません。通知後仮眠を取り 6:00 に山小屋を出発しました。外は暴風雨です。時折飛ばされそうな強風が吹きました。下山はスムーズに進み 9:15 に5合目に着きました。無事下山でき安心しました。

今回は悪天候のため山頂登頂はできませんでしたが次回また挑戦するぞと小御岳神社に誓い5合目を後にしました。

この山行で得たものは 3,000m を超す山行では高山病に留意し、体を慣れさせるためにゆっくりと登る事と夏でも寒いのでそれなりの防寒対策及び雨対策をしっかりとる事です。それと全く個人的な見解ですが金剛杖はう〜ん？でした。ストックを持っていない方はあっても良いかもしれませんが、ストックの方が疲労は少ないです。記念にはとても良い一品だと思います。自宅の神棚に奉納してあります。

活動データ

🕒 タイム	📍 距離	📈 上り	📉 下り
11:03	10.8 km	1220 m	1223 m

🕒 平均ペース ⓘ 標準 90 ~ 110 %



[コースタイム] (吉田ルート)
(1日目)

5合目出発 11:10
→6合目 12:20
→7合目 14:20
→元8合目 17:50
→本8合目到着 18:50
→トモエ館宿泊夕食 20:00
→仮眠

(2日目)
暴風雨により
山頂ご来光の中止決定 2:00
→仮眠
→下山開始 6:00
→5合目到着 9:15

(文責：安部)

7月例会山行「内倉沢沢登り」

2022年7月23日（土）

下山田、秋葉、根本、小林、青天目、山中、佐藤(春)、国井

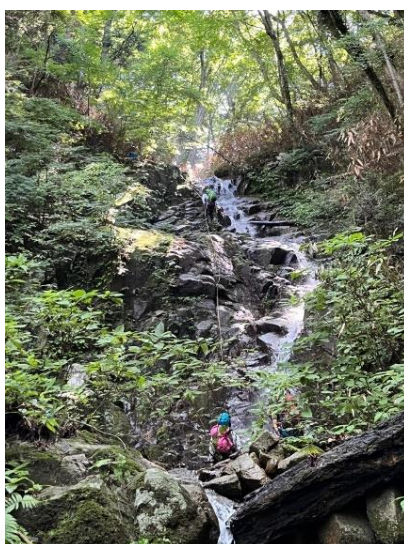
初めての沢登り、何を持っていけばいいのか？どんなところへいくのか？濡れるのか？いろいろな不安を胸に沢登りに行って来た。

二ツ箭山駐車場に集合し、2台の車に分乗して内倉湿原を過ぎて、民家前の空き地に車を停めた。神楽山森林鉄道・内倉貯木場跡から江田川支流に入る。川を少し歩いて行くと、水は滝に落ちていく。この流れに沿って私たちは下っていく。最初の滝は、そんなに高くもなく、急でもない。7月の座学でやった支点確保。ハーネスに確保器を取り付け、ロープを連結して懸垂下降を行う。

沢下りは、初めてのことなので、ドキドキしながら下りていく。ロープがしっかりしていて急に落ちることはない。そんなに怖いことはなかった。2段目は、急で大きい滝だ。下を見ると怖いが、教えてもらった通りにやると下ることができた。3段目は、もっと大きい、ここは空中での動作が必要なので、初心者の私がいることからやめることになった。

帰りは、下ったところを登る。2段目の滝の登りは、大変だ。一人ずつ登っていく。何番目の人が浮石に手を触れると、落石。大きな石が落ちてきた。もう少しで直撃となるところ、無事によけてことなきを得た。上をよく見てないと危険があることを学習した。みんな、無事に登り終えた。

お昼は、林の中で蚊が飛び回っているところ、何人かは蚊に刺された。その後、森林鉄道の橋脚跡を見学し、駐車場に戻って解散。みなさんご指導ありがとうございました。また楽しい体験ができました。



[コースタイム]

8：00二ツ箭山駐車場－8：15神楽森林鉄道貯木場跡－8：30沢登り開始－11：00昼食
－11：30橋脚跡－12：00二ツ箭山駐車場

（文責：国井）

月山（1984m）

2022 年 7 月 24 日（日）

伊藤(貴)、佐藤(秀)、蛭田(三)

花の百名山、月山へ行って来ました。朝 8 時、姥沢駐車場はまだ半分位の余裕があったのに、リフト券売り場はすでに長い列でした。リフト上駅のトイレは古く、女性トイレは一か所しか使用出来ないの下駅トイレの利用をお勧めします。

今日の予報は“てんくら A”なのに・・・リフト上駅辺りは一面どんより。それでも目の前には、これから登る雪渓が見えて気持ちが高まります。姥ヶ岳山頂は、湿原あり、花、花、花です。花ばかり見て下を見ていたら「上見て～。晴れてる！」と佐藤さんの声がして見上げると、真っ青な空、雲海には鳥海山が浮かんでいます。目指す頂上は、まだまだ遙か彼方です。

気持ち良い風と雲の流れるなか、木道をたどり、展望の良い尾根道を歩いていると前方から多角形の小さな帽子に白装束の山伏？が、掛け声をかけながら下りて来ました。「『もうすぐ頂上、もうすぐ頂上』って聞こえたね」と私と伊藤さんが笑っていたら、「『六根清浄、六根清浄』と言っているんだよ」と佐藤さんが教えてくれました。東北の出羽三山（羽黒山、湯殿山、月山）は信仰の山です。



小休憩して、体調を整え、あとひと登りです。きつい登りのガスガスの中、うっすらと山頂小屋が見えました。今日は小屋ランチを予定していたので、カレーを注文すると・・・残念、30 分前に完売です。“たぬきそば”に変更してスープまで飲み干し、お腹も満足、体もポカポカです。

小屋の昼の営業は 13 時まで。ギリギリに入ってきた若い男女が、休憩代を支払って 5 分後に外に出ました。厳しい世界です。その女性の服装はとても寒そうで、気になって声を掛けてみると暖をとりたいかったと。次回はしっかりした装備で山に入ってほしいと願いを込めて、私達はホッカイロを渡しました。

ガスの中でしたが、月山神社に参拝、三角点にタッチして、下山開始。登山道は大きな石の階段になっていて、とても歩き易かったです。ここを整備してくれる人達に感謝します。

牛首分岐からは雪渓 2 ケ所の下りがあります。アイゼンなしで苦労している人もいましたが、私たちはアイゼンを装着して、ザックザック歩いて楽しみました。雪渓の上は涼しく、雪解けの水の心地よい音が聞こえます。

緑、雪、花、空・・・日常から離れた環境の中で、語らい、歩いた事が良い思い出となり、何度も訪れたい山になりました。

[コースタイム]

リフト上駅 9：15－姥ヶ岳 10：30－金姥、柴灯森 11：10－山頂小屋 12：40～13：00
一月山神社 13：20－月山山頂 13：50－牛首分岐 15：00－リフト上駅 16：15



(文責：蛭田(三))

障子ヶ岳（1482m）周回

2022年7月30・31日(土・日) 太、山縣、菊地、外2

天狗角力取山（1376m）頂上下の天狗小屋に1泊し、障子ヶ岳を右回りにコース周回。

市内三和町を4時半過ぎに出発。山形道を月山ICで下り、西川町大井沢温泉で他県2名と合流し、登山口到着は9時少し前。天気が良く、気温も高いので、樹林歩きが長い初日でも大汗をかく。栗畑、天狗角力取山を少し下って小屋に着くと、管理人の犬がお出迎え。さっそく荷を解き、小屋前テーブルにて麓の天童市、山形市、遠く蔵王など眺めながら宴会。担ぎ上げた酒や肉と魚介で存分に楽しむ。

翌朝は登り返して周回コースに復帰。見晴らしの良い尾根歩きで全周囲展望を満喫する。目の前の月山に遠くの鳥海山が並び、朝日連峰の主稜線もほぼ全部望めた。障子ヶ岳からの下りは、急なザレ場にロープもあったが、何より前日に続いての暑さでなかなか厳しかった。林道終点に下山して駐車場所に帰ると、大井沢温泉で汗を流し、山菜蕎麦とイワナを食して疲労回復。

[コースタイム]

7月30日(土) 7km

9:00 南俣沢駐車場→11:10 焼峰→14:50 栗畑→15:15 天狗角力取山→15:25 天狗小屋

7月31日(日) 9.3km

5:20 天狗小屋→5:40 栗畑→7:20 障子ヶ岳→8:35 小障子→9:05 紫ナデ
→12:30 大井沢川林道終点駐車場→13:00 南俣沢駐車場

(文責：太)



写真上から朝日連峰主稜線と手前の天狗角力取山・天狗小屋、参加者、障子ヶ岳、ニツ石尾根スラブ

越後裏三山縦走敗退から末丈ヶ岳登頂

2022 年 7 月 31 日(日)～8 月 2 日(火) 秋葉、栗崎(透) (容)

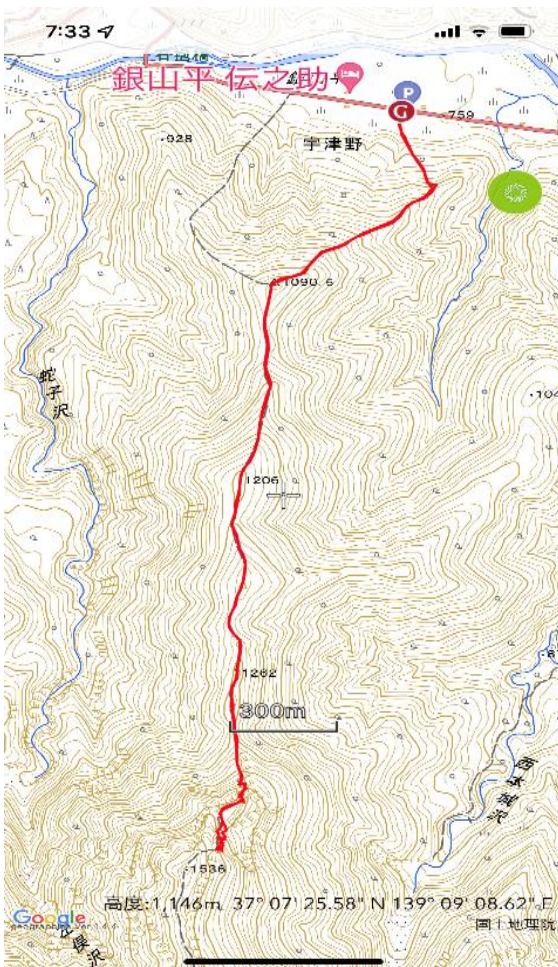
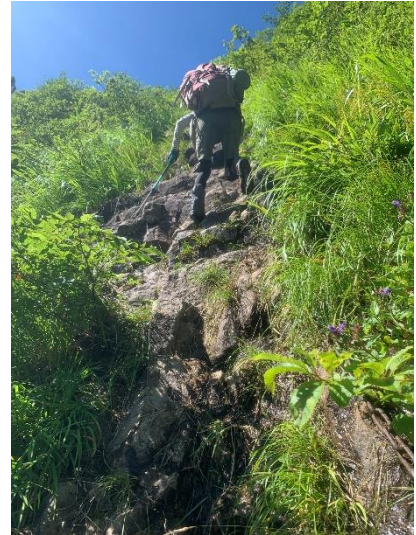
7/31(日)

檜枝岐経由で銀山平まで。途中、田島で昼食と今日の天気祭りの食材の買い物。16:00 から銀山平キャンプ場で盛大に天気祭り。

8/1(月)

5:00 荒沢岳登山口出発。ここには、広い駐車場にきれいなトイレが整備されている。

気持ちのいい広葉樹林の中の急登を重い荷物で喘いでいると、一時間ほどで前山だ。ここからは緩やかに下り、その後は少しのアップダウンの後、岩峰を屹立させた前嵯が現れる。



時間はまだ 9:00 前だが、きのうの天気祭りのおかげか容赦ない陽射しが照り付ける。

ここからは、鎖や梯子が連続の登攀だ。二泊分の荷を垂直に持ち上げるのはキツイ。

一度、30m下り、前嵯の岩壁に取り付く、が、体が思うように動かない。

強い陽射しが真上から降り注ぐ。日陰はない。

軽い吐き気と頭痛を感じていたので、初期の熱中症の症状だろう。

きょうのテン場まではあと 6 時間にかかるだろう。

途中に水場もない。

前嵯までは 80mぐらいだが、ここで撤退を決める。

ゆっくり休みながら、たっぷりの時間を使って 13:30 登山口に戻る。

下る途中に、目の前に未踏の末丈ヶ岳がかっこよく大きく広がっていたので、明日は末丈ヶ岳に登ることに決めて、荒沢岳登山口で天気祭りをほどほどにして就寝。

登山口 5:00—前山 6:00—前嵯手前 9:00

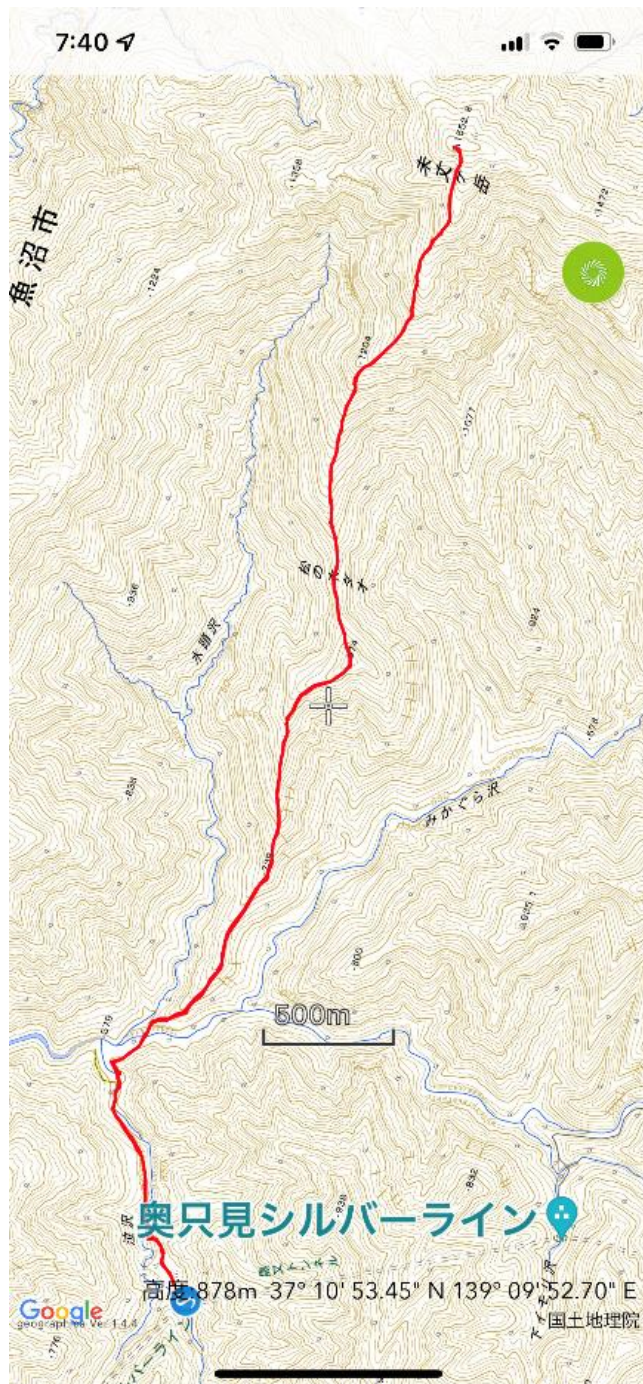
—登山口 13:30

8/2(火)

未丈ヶ岳の登山口は奥只見シルバーラインの泣沢避難口を出たところにある。

4:50 登山口を出るとすぐに小沢を渡る。この後も沢沿いを歩きながら2度ほど渡渉する。

水量が多い時は渡れないかもしれない。



黒又川にかかる手すりのない鉄製の橋を渡ると山頂まで一本道の尾根に取り付く。

急な登りの後開けた緩やかな尾根道をたどる。

昨日敗退した荒沢岳が真南に、南西方向に越後駒ヶ岳が見えるが、山頂付近は雲に覆われている。

途中で軽く朝食をとり7:00に974mのピークにたどり着いた。

一度コルの「松ノ木ダオ」まで下ろされてから山頂までは640mの登り。

登山道にはツルアリドウシ、ツルリンドウ、アブラツツジなどが目を楽しませてくれる。9:40登頂。

10:00に下山を開始したが、今日もとっても暑く、4時間かけて登山口の車にたどり着く。

二日間共に下山後は「白銀の湯」で疲れをとった。

登山口 4:50—974m 7:00—山頂 9:40—

10:00 — 登山口 14:00

(文責: 栗崎(透))



奥入瀬溪流散策（7km）

2022 年8月2日(火) 太、菊地

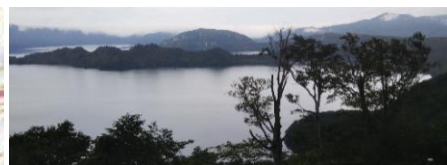
前日に森吉山か秋田駒ヶ岳に登る予定が、天候不良で断念。翌日帰路に就く前に十和田湖・奥入瀬溪流に立ち寄る。いわきへの移動時間を考え、奥入瀬溪流のうち、滝が多く、特に有名な部分7kmを下流方向へ歩き、JRバス「おいらせ25号」（石ヶ戸バス停 11:14→銚子大滝バス停 11:29）を利用して銚子大滝の駐車場所に戻った。

奥入瀬溪流は高低差が少なく流れも緑の美しいので、総延長 14kmでも苦にならず歩けるトレッキング・ルート。紅葉、新緑など季節を変えて完全走破したい場所であった。

[コースタイム]

8:10 銚子大滝→8:20 九段の滝→8:30 不老の滝→8:35 白糸の滝→9:25 白布の滝
→9:35 雲井の滝→9:40 千筋の滝→9:50 飛金の流れ→10:00 阿修羅の流れ
→10:10 馬門岩→10:25 石ヶ戸→10:30 石ヶ戸休憩所

（文責：太）



十和田湖



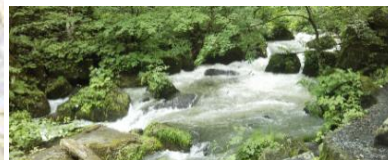
魚止めの滝
(銚子大滝)



左
雲井の滝



右
馬門岩



阿修羅の流れ



石ヶ戸

8月教室山行「尾瀬」

2022年8月7日(日)～8日(月)

教室生（西村夫妻、古内、芳賀、種市） 5名

会員（秋葉、下山田、長谷川、根本、西、小谷野
山縣、蛭田(一)、国井、安部、赤塚(園)）11名

8月の教室山行「尾瀬」に参加してきました。今年の尾瀬は“燧ヶ岳に登らず”沼山峠→尾瀬沼→見晴（桧枝岐小屋泊）→三条の滝→御池のコースを歩いてきました。

一日目は、青空の下沼山峠をスタートしました。木道がいつになく滑りやすく歩幅を狭く足底をピタリと着けて…気をつけながら歩きます。

ニッコウキスゲも終わり、夏の喧騒も一段落した人影まばらな大江湿原を抜け、ビジターセンターへ、そして小湿原が点在する尾瀬沼北岸道を歩き、沼尻休憩所でランチタイム。

ポツポツと小雨が降ってきましたが歩き始める頃にはまた青空が戻り、暑さを気にしながら見晴（桧枝岐小屋）に向かいます。

途中、メンバーが木道で転倒してしまい足を痛めて歩けなくなりました。まず患部を冷やし、合流した大先輩が応急手当をしてストック2本で松葉杖を作り、スリングを使い誘導をしました。ところどころ教室生T氏が背負い、そして最後は迎えに来てくれたメンバー達と担架で小屋まで運びました。その日の夕方、小屋の方の手配によりヘリで病院（山形）へ搬送して頂きました。

お忙しい中お世話になりました。

二日目、至仏山は雲の中に隠れていました。

予定より早めに小屋を後にし平滑ノ滝、三条ノ滝に向かいます。三条ノ滝ではザックをデポし身軽になり、水煙をあげ大迫力の姿に圧倒されてきました。その後は燧裏林道をひたすら歩き御池を目指します。途中、今月末山行予定の平ヶ岳も眺望でき気合が入りました。

ゴール直前にシカ対策のカーテンを通過後しっかり閉めて御池にゴール！戻ってきました！！

二日目に教室生1名が少し体調を崩しましたが、休み休み歩き最後まで自分の足で歩き無事にゴール出来ました。日曜日にしては思いのほか駐車場は空いてました（コロナの影響？）。

8月の尾瀬は、夏の花も終盤でしたがそれでも沢山の花たちが迎えてくれて癒してくれました。

また、アクシデントもあり貴重な体験をしました。その対応にみんなで自分（会員も教室生も）が出来る事をして協力し合い、常日頃の訓練と準備の大切さを身をもって知る良い機会となりました。本当に本当にお疲れ様でした。

[コースタイム]

1日目

8：00 御池⇒シャトルバス⇒沼山峠 8：50⇒大江湿原⇒平野家墓⇒ビジターセンター10：20
⇒沼尻休憩所 12：00⇒見晴 15：40

2日目

6：35 桧枝岐小屋⇒7：20 平滑ノ滝⇒8：05 三条ノ滝⇒9：05 段吉新道分岐⇒13：00 御池
（⇒燧ノ湯⇒帰路⇒19：00 合同庁舎）



活動データ

🕒 タイム 📏 距離 📈 上り 📉 下り
13:12 **20.9 km** **730 m** **926 m**

⚙️ 平均ペース ⚙️ ゆっくり **50 - 70 %**



距離 行動時間 日時

1800m 300%

0人のDOMO

0件のコメント



(文責：赤塚(園))

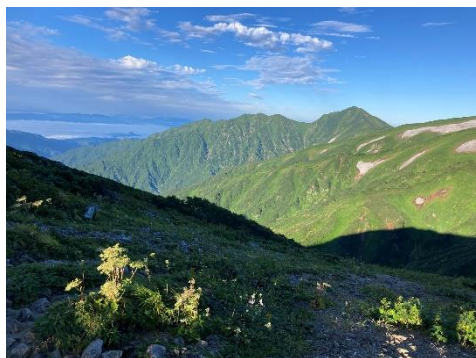
8月例会山行「飯豊山」

2022年8月20日(土)～22日(月)

秋葉、青天目、安部、国井

8月の例会は、飯豊山。当初の予定では、お盆であったので、行くことを諦めていたが、日程が変更となり参加することができた。

初日、飯豊山登山口、御沢野営場。車は少ない。いよいよ登山開始です。ネットや山の本で最初から急登であると紹介されているので、ドキドキしながら登り始めた。野営場から登山口までは、林道で平坦でした。登山口から登り始めるとほんの少し平坦な道から急登が始まる。いくら進んでも急な登りが続きます。テント泊を予定しているので、背中のザックはずっしりと重く体に堪えます。下十五里、中十五里、上十五里を過ぎ、地藏山の水場に到着。水はあったので、補給せず進む。岩場の剣ヶ峰。下山者が慎重に下りてくる。ここは慎重に進まないと危険。何とか登りきると三国小屋、ここで昼食。お昼を食べたあたりから雲行きが怪しくなってきた。雨がぽつぽつと降り出してきた。ここから切合小屋までさらにアップダウンを繰り返しやっと到着、この時、雨は本降りとなった。テント泊の予定でしたが、テントをやめて、山小屋に変更した。テント場には、1組のテントだけが張ってあった。この雨の中、強者がいた。この後、いつもの宴会、これもまた楽しい。

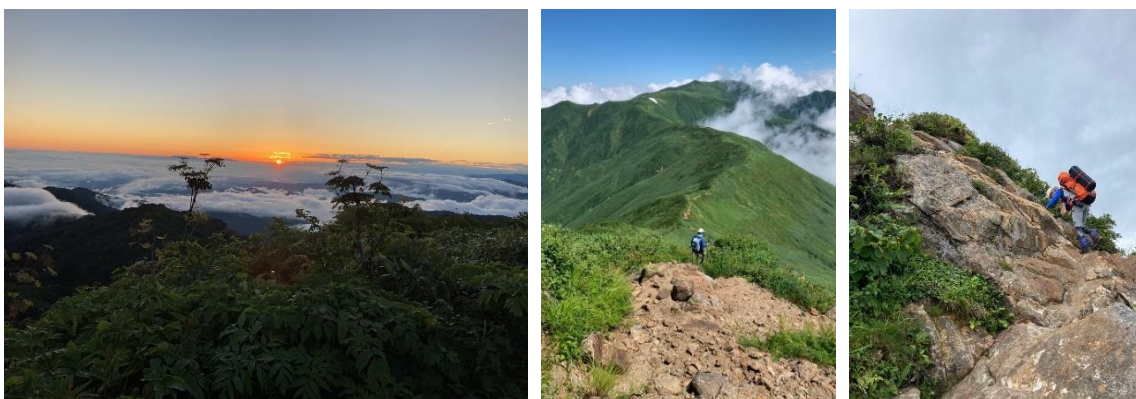
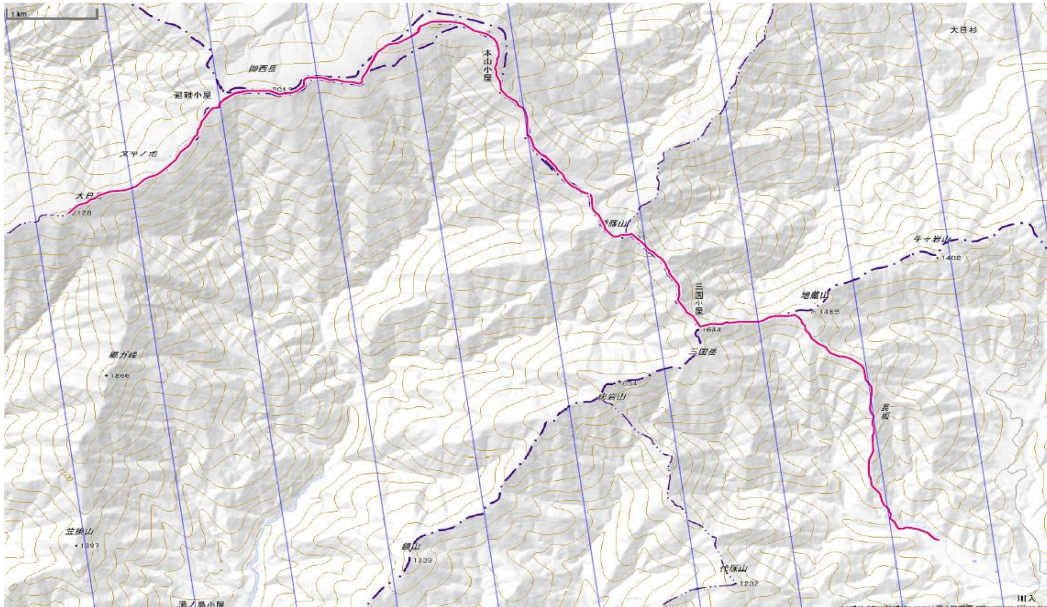


2日目、朝5時出発予定、山小屋にザックを置いて、アタックザックで出発。軽い、昨日背負っていたザックとは雲泥の差だ。「どこまでも歩いていけそうだ。」とこの時は、思った。一ノ王子で朝食、フリーズドライの白米に納豆を混ぜて食べた。まずい、量も多い、半分食べてやめた。飯豊本山神社にお参りして、飯豊本山山頂に登頂成功。みんなで万歳。まだまだ元気で歩けた。ここから尾西岳までの登り下りがしんどい、この途中で脛が虫に刺されたらしい。痛くはなかったので、気が付かなかったが、脛が腫れてきた。左目が見にくくなった。それでも尾西岳（山頂はわからなかった。）尾西小屋まで来た。尾西小屋で一休み。ここから大日岳が長く、しかも急登。段々歩きたくなくなってきた。途中でみんなを待っていることも考えたが、待つ場所もいいところもなく、ずるずると山頂まで登りきることができた。天気は快晴、遠くの山並みもきれいに見渡せた。ここでも万歳、本日2回目。帰りは、もう疲労と目の見づらさでゆっくりゆっくり、休み休み歩いた。脛は、上も下も腫れてきた。本山小屋まで来て、記念にTシャツを購入した。大日岳から切合小屋までがとても長く感じた。本当に長かったのだろう。2日目は、持ってきたテントに宿泊。私は、ビール1本と焼きそば少し食べて、水で脛を冷やして就寝した。他のメンバーは、元気に今日も宴会。

3日目、5時出発。今日は、初日目に通ったコースに戻る。下りが中心と思ったが、三国小屋まで結構なアップダウン、ザックは重い。脛は、腫れが少し引いてきた。見やすくなった。だけど疲労で

足が重い、でも帰るには進まなければと思い足を進める。岩場で足を滑らせた。転倒、太ももを痛打。幸い動かせる。三国小屋に来て朝食、食欲もなく、何とかパン1個とソーセージを食べた。ここから剣ヶ峰、岩場が続く慎重に進む。地蔵山の水場を過ぎ、横峯、上十五里、中十五里、下十五里、急な下りが続く、終わりがなかなか見えない。我慢して歩き続ける。登山口に到着。ここから野営場までも結構長かった。帰りに「いいでのゆ」で風呂と昼食を取って無事にいわきに帰ってきました。

一緒に行ってくれた方々に感謝します。ありがとうございました。



[コースタイム]

8月20日

7:00 御沢野営場-7:10 御沢小屋跡-7:40 下十五里-09:10 笹平-9:40 小白布沢コース分岐
-9:45 横峰-11:30 三国小屋-13:30 切合・種蒔山分れ-14:00 切合小屋（泊）

8月21日

5:00 切合小屋-7:04 一ノ王子-7:43 本山小屋-7:58 飯豊山-9:06 御西岳-9:24 御西小屋
-10:55 大日岳-12:22 御西小屋-12:41 御西岳-13:49 飯豊山-14:15 本山小屋
-14:20 一ノ王子-16:00 切合小屋（泊）

8月22日

5:00 切合小屋-5:05 切合・種蒔山分れ-6:30 三国小屋-7:50 横峰-8:00 小白布沢コース分岐
-9:17 笹平-10:15 下十五里-11:20 御沢小屋跡-11:30 御沢野営場

（文責：国井）

指導委員会沢登り研修会 安達太良山 烏川右俣

2022 年 8 月 21 日(日) 甲高、渡辺(敏)、ほか 12 名



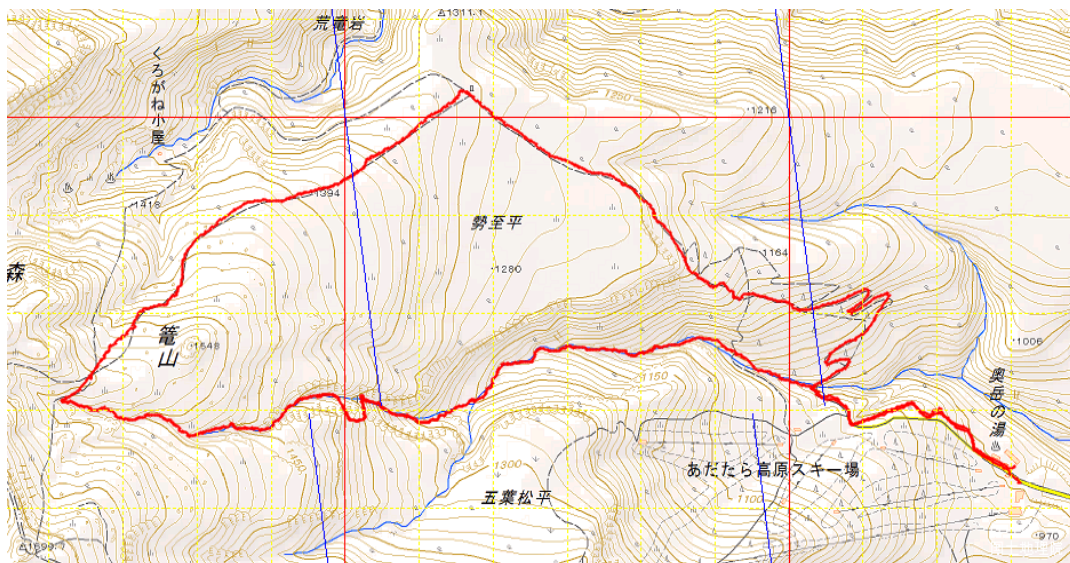
指導委員会主催の沢登り講習会が実施され参加しました。

前回の沢登り研修会は烏川左俣を遡行したが、今回は右俣の遡行。右俣のハイライトは上八幡の大滝。予定時間通りに入渓し、順調に登って行きました。両俣では左俣からの土砂が積み上がっていました。8月の初旬の大雨で、大量の土砂が流れたようです。右俣には大滝までは難しい滝はなく、ザイルを使う必要はない。上流になるにつれ藪がうるさく、通過するのに骨が折れる場所が所々に現れる。上八幡ノ滝に到着した。高さ 10m くらいはありそうだ。そして、オーバークンギ味になっているように見える。滝を直登した報告があり、七宮さんが登れそうなルートを探すが、この崖は登れそうところはなさそうだ。過去の報告では滝の左側を高巻いて登った報告があるので、左側に回って藪の中の登れそうなルートを探す。崖に沿ってしばらく進むと、水が流れた溝があり、この溝に沿って上へ登れそうだ。かなり激しい藪だ

が、何とかかき分けながら進むと崖の上部に出ることができた。崖の上部からは滝の落ち口や竈山を見渡することができる。ここで昼食をとってから沢に再び戻り、しばらく進むと安達太良山頂から峰の辻に向かう登山道に出て、遡行は終了となった。下山の準備をして下った。途中、安達太良山の会の会員の方々が登山道整備されているのに出会った。登山道整備、ご苦労様です。安達太良山は大変人気があるようで、登山口の駐車場は満車に近い混みようである。最初の予定より 1 時間近く遅くなったが、皆さん無事 4 時過ぎに登山口の駐車場に到着した。

【コースタイム】

奥岳スキー場駐車場 8:53→烏川入渓 9:11 9:21→上八幡ノ滝 11:04 11:31→昼食 12:21
13:02→遡行終了 13:56 14:20→勢至平 14:59 15:09→奥岳スキー場駐車場 16:14



(文責: 渡辺(敏))